

（左から）株式会社デジタルフォルン：木村氏、栗山氏　株式会社IDOM：紺野氏、徳光氏、長川氏、谷島氏

IDOM Inc.

BizRobo!ゴールドパートナーのサポートでスムーズに導入、年間2万時間を削減。新しいビジネスの創出を目指す

CORPORATE PROFILE

社　名
株式会社IDOM

事業内容
中古車の買取・販売事業

ウェブサイト
https://221616.com/idom/

- 話を伺った方 -
コーポレートチーム　BPR推進室　セクションリーダー
長川 武史 氏

オペレーションチーム　サービスサポートセクション
谷島 敏 氏

（同セクション） 徳光 久仁彦 氏

開発セクション 紺野 良太 氏

株式会社デジタルフォルン

RPA/AI/Data Analysis & Connectionビジネスユニット
ユニットディレクター 上席執行役員
木村 岳洋 氏

（同ユニット） マネージングコンサルタント
RPAシニアエバンジェリスト　栗山 勇 氏

Highlight

- ☑ スピード感のある施策としてBizRobo!を検証・導入
- ☑ BizRobo!ゴールドパートナー・デジタルフォルンによる研修でスムーズに導入・活用
- ☑ 23業務・年間2万時間分をBizRobo!で削減

中古車店「ガリバー」で知られる株式会社IDOM。中古車買取台数・販売台数ナンバー1の業界最大手だ。1994年、東京マイカー販売株式会社の自動車買取部門としてガリバーインターナショナルを創業。2016年7月、「自動車流通業界の変革に“挑む”」として現在の社名へと変更した。近年は小売店舗出店を拡大し、日本全国に550店舗以上の直営店を展開している。そんな同社は、小売店舗拡大に伴うビジネスモデル転換以降に発生した「オペレーション業務の煩雑化」という課題を解決すべく、東京・丸の内の本社および直営店のオペレーション業務を担う幕張オフィスにてBizRobo!を導入。BizRobo!ゴールドパートナーである株式会社デジタルフォルンのサポートを受け、23業務・年間2万時間の業務時間削減効果をあげている。

Copyright © OPEN, Inc. All rights reserved.

導入背景 スピード感のある施策としてRPA導入を検討


長川氏

小売業の拡大に伴うオペレーションの煩雑化が課題に

株式会社IDOMは創業以来、中古車の買取・卸売（中古車オークション）事業を展開。2012年以降は「買取台数ナンバー1」の実績を活かして小売店舗数を拡大し、現在は日本全国に550店舗超の直営店ネットワークを構築している。だがビジネスモデル転換期に入り最大の課題となったのは、幕張オフィスに集約している店舗オペレーション業務の煩雑化だった。

「事業拡大に伴って、買収先と共に異なるシステムが増えていき、連携もままならないのが実状でした。スタッフの配置転換で対応していましたが、そのうち限界が生じると感じていました」（同社コーポレートチーム·長川氏）

その打開策として業務システム導入とRPA（ロボティック・プロセス・オートメーション）導入を検討し、最終的にRPAを選択。「費用対効果でシステム開発にはあまり期待できないと判断し、よりスピード感のあるRPAの導入検討に至りました」（長川氏）

BizRobo!を選んだ理由 他社製品と比較しても「BizRobo!にできないことはほとんどない」

AWSのサーバ上で動かせて「安定性が高い」ことも決め手に

対象業務をどこまで拡大できるのか、開発の難易度やコストはどれほどなのかなど、分からないことだらけの状況で、長川氏は1カ月間の無償トライアル期間で検証できるBizRobo!の存在を知った。「PoC（プルーフ·オブ・コンセプト）を行いやすい点が、最大のメリットでした」（長川氏）

同社では東京・丸の内本社における事務的業務を対象に、他社のRPAツールも同時並行的に検証していた。実際に比較して「BizRobo!にできて他社製品でできないことはあっても、BizRobo!にできないことはほとんどなかった」と長川氏は話す。後に、ロボット開発を担当する徳光氏もこう付け加える。

「他社製品はローカル環境で動かすものが多く、パソコンの環境に左右されてしまいます。我々が対象としたのはかなり大規模な業務であったため、AWS（Amazon Web Services）のサーバ上で動かせて、かつ安定性が非常に高いBizRobo!が最適でした」（徳光氏）


（左から）長川氏、谷島氏、徳光氏

Copyright © OPEN, Inc. All rights reserved.

対象業務 保証サービスの申請に伴う定型業務を検証

たった1カ月の検証期間で効果が生まれた

1カ月間の検証フェーズで最初に対象とした業務は、店舗からの保証サービス申請への対応に伴うオペレーション業務だった。同社が展開する「ガリバー」で販売する中古車には故障や不具合が発生した際の保証サービスが付帯しており、その申請にあたってシステムへの情報入力等、大量の定型業務が月あたり約3,000件も発生していたという。徳光氏とともにロボット開発を担当する谷島氏が振り返る。

「申請内容によって処理工程が異なる、複雑な業務でした。もともとは当社の子会社で運用されていましたが、親会社である当社とはシステム連携がなされておらず、常に人の手を介した非常に煩雑な作業が必要でした。しかし、たった1カ月のBizRobo!導入検証により、大半の業務をBizRobo!に代替できたのです」（谷島氏）



谷島氏

導入効果 対象を23業務に拡大し、2万時間分をBizRobo!が担う

検証フェーズの「年間8,000時間」で「十分にペイできそう」

上記の申請業務を含め、検証フェーズにおける業務の削減時間は「年間8,000時間」が見込まれた。「その削減効果だけで、導入コストは十分にペイできそうだった」（長川氏）

導入決定後はBizRobo!ゴールドパートナーの株式会社デジタルフォルンから、普段使用している業務システムを題材にしたロボット開発のレクチャーを数ヶ月にわたり受けた。「繁忙期までにBizRobo!活用を成功させたかったため、初めの2カ月はスピード優先で週に2日、16時間の研修を行い、後の4カ月でメンバーが各々の業務のロボットを開発しました。デジタルフォルン側には、メールや電話で質問して回答をもらったり、次回の研修時にアドバイスをもらったりしました。そういったサポートが、時間の制約がある中で導入に成功した要因だと感じています」（長川氏）

本格導入後の6カ月間で作り上げたロボットはおよそ100体、対象業務は23業務にも拡がっている。「単純作業から、人の判断を伴う複雑な業務まで、年間約2万時間の業務工数をBizRobo!で効率化できました」（長川氏）



（左から）紺野氏、長川氏、谷島氏、徳光氏

Copyright © OPEN, Inc. All rights reserved.

今後について　ただちに見えてきた経営面への効果、そして先々への投資

ルーチン業務を減らした分、企画や改善に時間を有効活用

今後は「人が行うべき業務とRPAに代替すべき業務の棲み分けを明確化し、業務の効率化を推進していきたい」と長川氏。「全社を見渡せば、改善できる業務がたくさんある。BizRobo!推進による全社的な成果拡大へ向け、専任の組織体制も整えました」（長川氏）

さらに長川氏は「ロボットが24時間ミスなく稼働することで、繁忙期でも大幅に残業が減った」「当初の課題だった人員補充・増員を抑制できた」と、経営面への効果を挙げるとともに、「これまでルーチン的な仕事に関わってきた社員の実働時間を減らし、その分を企画や改善などに充てられるようになったことも大きい」と話す。「RPA活用の先にある未来は人件費を削減するだけではありません。先々を見据えた投資として、新しいビジネスを生み出すことも常に意識しています」（長川氏）

現場の声　検証フェーズからBizRobo!ゴールドパートナーが参画



栗山氏

実際の業務を対象にした研修だからこそ「理解促進が早かった」

同社のBizRobo!導入がこれだけスムーズに行えたのは、BizRobo!ゴールドパートナーである株式会社デジタルフォルンが検証フェーズからプロジェクトに参画していたことが大きい。「どのRPAツールも導入時はそれなりに難易度が高いもの。弊社ではいくつかのサンプルロボットをご提供し、それを題材としながら研修を受けていただきました」（デジタルフォルン・栗山氏）

開発の中心メンバーで、業務上の課題を抱える現場に近いメンバーとして自ら研さんを積みながらロボットを開発してきた谷島氏も次のように話す。「デジタルフォルンの導入支援を受けた決め手は、検証フェーズで実際に結果を出していただいたことです。検証フェーズでは、どれくらいのことが自動化できるかの確認をテーマに対象業務を選び、その業務を一ヶ月の検証期間でロボット化できました。普段の業務や使い慣れている社内システムを対象にロボット開発の研修を開いていただいたのですが、興味を向けられる対象領域だからこそ理解促進が早く、実際に研修で作ったロボットをそのまま使えるという大きな利点もありました」（谷島氏）

OPEN
オープン株式会社は日本国内で長年にわたりRPA事業を展開し、業界・地域を問わずその活用ノウハウを提供しています。「ヒトの進化を共創する」ことをミッションに掲げ、BizRobo!をはじめとするRPA関連製品・サービスの提供により、個性が思う存分活かされ、楽しむ人たちが躍動する未来の実現に向かっていきます。
オープン株式会社　〒105-0003 東京都港区西新橋3-3-1 KDX西新橋ビル3F　BizRobo!事務局：Tel 03-6778-0864
もっと情報を知りたい方は
BizRobo! 検索
https://rpa-technologies.com
お問い合わせ：
※記載している内容は取材日時点の情報です。
Copyright © OPEN, Inc. All rights reserved.